



2011-12 年度 R I のテーマ「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」
 R I 会長 カルヤン・パネルジー (Reach Within to Embrace Humanity)
八戸南ロータリークラブ会報
 例会日：毎週木曜日 12:30 例会場：八戸パークホテル

ガバナー 小山内 康晴 会長 三川 博 幹事 榊 清蔵 会報委員長 岡山 明美
 ホームページ：<http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email：hsrclub@hi-net.ne.jp
 RI 第 2830 地区ホームページ：<http://www.rotary-aomori.org>

第 1777 回例会記録 社会奉仕・WCS 委員会担当例会
 2012 年 2 月 23 日 (木) 点鐘 12:30

レポート NO.1238

1777 回例会要旨

- ・会長要件 (無意識について)
- ・R I 2520 地区小野寺ガバナーエレクト挨拶
- ・幹事報告
- ・各委員会報告 (出席・親睦)
- ・源新ガバナー補佐挨拶
- ・社会奉仕委員会担当例会
 講師紹介 山子委員長
 講師 蟹沢幸治様

ゲスト

蟹沢幸治様

ビジター

小野寺則雄 R I 第 2520 地区ガバナーエレクト、
 工藤武三様、大沢康宏様 (二戸 R C)
 源新育子南分区ガバナー補佐 (八戸北 R C)

会長要件 三川会長

今日は意識と無意識についてお話しをします。この題は大変難しいですが、簡便に話します。人間の歴史、文化、心の歴史は今日に至っていますが、私達はある時期まで心がわかりませんでした。研究をして意識と無意識を考え、デカルトの時代『我思う、ゆえに我あり』と意識や理性を重視し、科学文明で割り切れないものがあると考えました。精神学者が現れフロイトなどの時代となり、無意識を解明しました。そのわかりやすいものに、言語連想検査があります。単純な『海』『山』と言い相手がどう反応するか、時間を計りながらやります。遅延や反応なしは問題で、例えば「お金」と言って答えられない場合、盗んだ事があるとかやましい事があるなど、心穏やかでないといと反応が遅く反応が出来ません。



これらの事実から無意識があることがわかりました。映画でもヒッチコックは無意識を取り上げ、

出席報告 木村出席委員長

正会員 43 名出席免除会員を除く
 会員 35 名中
 本日の例会は免除会員 3 名を含む
 出席者 28 名出席率 74%
 前々回例会：メキップ 無出席率 85%



精神分析を多用した監督で、恐怖映画に仕立てました。人間の文化にも無意識が利用され今日に至っています。芸術、経済、政治にも不安などの無意識が反映されていると言われたりします。ここに我々 40 人いれば 40 人の無意識があります。我々人間は自分の心の奥底に何があるかわからず一生が過ぎる方もあります。一部わかる人もいますが、多数は心の底の、闇の部分が分らないで終わるのがほとんどです。最後にロータリークラブと無意識ですが、活動されている方、されていない方もいますが、良い方に反映されていけば活性化となります。無意識が活用できれば良いと思います。

RID2520 ガバナーエレクト挨拶

小野寺則雄様

小野寺と申します。来て見ると近くて、お隣のクラブのようですが初めてお邪魔しました。実は黒田先生にお会いする為にお邪魔しました。同じ南部藩の人間同士です。我々の地区は南部藩と伊達藩を抱え広い地区です。会員数、クラブ数で青森の倍、広さでは 3-4 倍あるかと思っています。今年の 3.11 の地震、津波。八戸も甚大な被害がありましたが、岩手宮城は大変な被害でまだ不明な方もいますが、復興に向け取り組んでいます。黒田先生は日本の復興支援委員であり、ご支援を頂きたいと思っています。今回は 5 月 20 日の 2520 地区の地区協議会に基調講演をお願いしに来ました。その後 2013 年 5 月 21 日には二戸で地区大会があります。新幹線で 12-13



分です。駅近くの二戸文化会館で行います。当地区の松本康子ガバナーエレクトとは1月に一緒に国際協議会研修を受けてきました。その時も黒田先生はホテル前でお迎えいただきました。隣同士です。よろしく願い致します。

幹事報告 榊幹事

- * 18日のよろず相談の記事が新聞に掲載していました。
- * 20日月曜日の寄贈式無事終了しました。引渡し式も行い、私と会計が立ち会いました。
- * インドのポリオ投与は4月15日ニューデリーで実施するそうです。
- * R I 2750 地区で震災の情報サイト案内が届いています。
- * 花と緑の文集が届きました。



ニコニコ・ボックス 松田親睦委員長

三川会長:社会奉仕委員会、WCS委員会の皆様、担当例会よろしく願います。

源新ガバナー補佐:南ロータリークラブの皆様 I M 大変お世話になりました。今後とも宜しく願ひ致します。



黒田PG:岩手・宮城のガバナーエレクトの小野寺様
こんにちは!災害復興に大変だと思います。

鈴木会員:よろず相談お手伝いできず申し訳ありませんでした。

山村会員:よろず相談の参加の皆様大変ご苦労様でした。また蕪島のトイレオープンセレモニー出席できませんでした。申し訳ありませんでした。

小原会員:よろず相談へのご協力ありがとうございました。

米内会員:よろず相談手伝えず失礼しました。

本人誕生祝:慶徳会員

ガバナー補佐挨拶

源新育子南分区ガバナー補佐

こんにちは一言 I M のお礼を申しあげたくてお邪魔しました。来賓、会員合わせ 157 名の参加者で無事大過なく終わる事が出来ました。会長、幹事始め皆様、特に黒田パストガバナーにはアドバイザーをお願いし、皆様とロータリーの時間を味わう事が出来ました。残り 4 ヶ月、目標に向かって頑張りたいと思います。今日は二戸ロータリークラブのガバナーエレクト他の皆様にお会いでき光栄に思います。



社会奉仕・WCS委員会担当例会

山子委員長:社会奉仕、環境保全の山子です。今日の講師、蟹沢先生のプロフィールをお配りしています。(経歴略)先生は大館地区にとって宝です。市のアンケートで住みたい地区で大館地区が選ばれています。先生の力が大きいです。郷土を愛する心、説得力を持ち市民を巻き込み地域作りを行い、ボランティアの手本になる方です。



蟹沢幸治様:

こんにちは、小さな一地区でささやかな動きをして、これで良いのかと思っています。皆様は八戸を引っ張っている方、私のような小さな実践の話しを聞いて、何か教えて頂きたいと思って来ました。



私は昔学校の先生でした、その後公民館へ行きビックリしました。毎日 50 人~100 人の方が来て勉強をしています。36 年間学校にいて生徒の尻をたたき勉強を教えていました。公民館は誰もお願いしていないのに自ら学ぶ事を確立している大人がいるのです。教育の原点を見ました。現職の時に気がつかなかったのかと思いました。国を変えるような、明治の頃は命を投げ出してもと言うような強烈な個性を持つ人がいなくなった。平等と、学校はすべて平等、皆一律にと、個性を薄めている感じがあります。この国の底で問題となっている事で、その人間形成が大きく係わっているのではないかと最近思うわけです。

公民館から地区の色々な事にかかわりました。地域は大きな学校だと捕らえてきました。自分がいる場所で助けあって行きたいと思いました。大館地区にこだわって行きたい。昔、大館地区は純農村でした。町に近いので近郊型の農村と言えますので、八戸の発展と係わってきました。村にセメント工場が出来たのは大正時代。農家の次男や三男を働きに出して村が潤いました。昭和 32 年に八戸市に合併。これは大きな意味がありました。プラス面もマイナス面でもです。33 年から八戸市の大館で 50 年間です。人口は 6,000 人から 5、6 年後には 22,000 人に。これが地域に大きな影響を与えました。旭ヶ丘団地が 33 年~38 年県のモデル団地として出来、その後 7~8 つ団地が出来、通勤、通学も含めて増えてきました。

町作りには半分揶揄して言うのは『まち作りには、ばか者、よそ者、若者』の 3 つだと。よそ者が 8 割

近くの人がおいでになった。ばか者とは町や村のために一生懸命にやる人の事です。よそ者は第一にプラスになり、社会活動も入り、新しい発想やアドバイスがありました。しかしその一方で団地住まいで隣近所一緒に何かする意識が無いのも確かです。町内会に入っている方が57%です。市内平均は64%。市では町内会加入に躍起ですが、決め手が無く地域の肩にかかっています。

町作りは、10年前に八戸市が町作りモデルシティとして、大館もその中でゼミナール、勉強会をやるとうと年2回始まりました。夢を語る会。すべては夢から始まります。喋っているうちに実感をもって進めて行く事が出来ます。議員や学校の先生、色々な方などが集まり、町作りの原点となって行きました。3年目に、地域を課題で動こうとし、今年できる事、2、3年後に出来る事、将来できる事、そして誰が担当するか、老人クラブ等将来の見通しをつけることとしました。

その大きなものが新井田城祭り。1627年寛永4年。根城南部が遠野へ行くこととなり、これは出立といい、入ってくるのは入部です。その出立を再現しようとの事でした。その前年遠野へ何度も足を運び、(南部氏遠野入部行列)の写真を借りたりしました。今年で8年目です。一地域で役所等の応援も無く、自分達でやるのは容易ではありませんが、人は一人ではなく集まると隣からエネルギーをもらい前向きにやろうと言いあっています。行列の当日は係りだけで800人です。委員会は20あり、行列委員、財務委員など様々で何とか定着しました。遠野の市長や小林市長もおいでになって励まして下さり、少し大げさになったかなと思います。大きくなると大変です。(遠野の)入部行列にはバス1台で行きます。遠野には対泉院や大慈寺もあり苗字も同じです。

大館はどこへ行くのよ?目標は?と言った人がいたので、町作り憲章を作りました。『わたしたちはふるさと大館を心から愛し誇りを持って住みよいまちづくりにつとめます。』前文で、『一、歴史を知り、ふるさとに誇りを持ちましょう』新井田小学校では全員出校日で、体験を通して歴史を学びます。また大館中生徒会長は新田の殿様に扮します。同じ15歳ですから。この殿様は遠野に行っても評判が良かったです。(延宝2年、1674年)の百姓一揆のときも、老年になっていましたが新田氏に話を聞きたいと言ったそうで、個性を持った殿様だったそうです。

そんなことで、大館は人が良いです。『結っこ(ゆいっこ)』があります。これは百姓の共同作業でし

た。それを今は絆と言われています。私達は具体的にまち作りとして歴史看板作りをしています。1年に2ヶ所ずつです。おとぎの森構想は城址で子供にお伽を伝えて行きます。この近くの館越山では昔狐がいて新田に帰る人をだましていたなどのお伽があります。寸劇もやります。70代でもせりふを覚え立派にやっています。カルタも作りました。44項目。地域にある様々なものを伝える為です。絵は中学校の美術部から書いて貰いました。歴史と自然環境、人間関係を大切にし、新田川も綺麗な支流があり、鮭鱒の養殖も出来、川向こうに市民病院があります。入院している人に見えるようアジサイロードを作っています。ハゼ釣り大会もあります。去年は250人が来ました。昔は川に入って遊びましたが、今は川を避けています。しかし我々は警察や防犯協会や皆で守っています。

遠野との交流は伝統芸能やえんぶりなどで交流しています。こういう活動は情報がないと自己満足で終わります。まつり通信や大館新聞などで情報を出していくことが次のステップだと思っています。



【二戸RCの皆様】